

友愛保育園自己評価(2022年度)

a できている
 b まあまあできている
 c できていない

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		評価
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	保 1	a · b · c
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	保 2	a · b · c
コメント キリスト教の精神に基づいて策定されています。		
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	保 3	a · b · c
I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	保 4	a · b · c
コメント 職員については改めて理念や・基本方針を周知し、これから園として目指していくところを話し合っています。利用者共に周知はできていますがその精神について深く浸透するところまではいっていません。今後、園の保育感、保育士たちの保育感を伝えていけるようにしたい。		

I-2 計画の策定

		評価
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	保 5	a · b · c
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	保 6	a · b · c
コメント パーゴラの上を園庭化することについては今後の検討課題。設備の修繕が増えている為、計画的に積み立てを行い、不測の事態にも対応できるように準備をしていきたい。待機児童数が大幅に減っている為、「なければならない園」となれるよう子ども主体の保育を心掛けたい。又、新たに学童等の事業が可能か検討中。		
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		
I-2-(2)-① 計画の策定が組織的に行われている。	保 7	a · b · c
I-2-(2)-② 計画が職員や利用者等に周知されている。	保 8	a · b · c
コメント コロナ禍で話せていなかった為、次年度は理事会の中で話し合っていきたい。		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		評価		
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。				
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	保 9	a	b	c
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	保 10	a	b	c
コメント 職務分担表は作成しています。法令等に関しては研修などでその理解、改善などは日々行っていますし、疑問点なども担当機関に直接連絡を取りながら処理を行っており、適切な運営ができるように心がけています。				
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。				
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	保 11	a	b	c
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	保 12	a	b	c
コメント 質の向上を図るためには職員の心に響く研修を企画しなければと考えています。こども園や幼稚園など、土俵が違う中で、処遇に関して不満を持つ方が増えているように思います。当園の実力もありますが、処遇を改善していくことと、職員が現状に一定の満足を得られるよう、改善を図れるよう市にしていきたいと思ひます。				

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

		評価		
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。				
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	保 13	a	b	c
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	保 14	a	b	c
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	保 15	a	b	c
コメント 園に対するニーズは保護者や行政などを通して把握はしているつもりですが、待機児童数も減ったことから「選ばれる園」「なければならない園」になれるよう、子ども主体の保育を掲げ「レジョエミアアプローチ」という保育を勉強中です。次年度も継続して調べていきたいと思ひます。経営に関しては社会福祉経営研究会において財政面を中心に指導してもらってます。				

Ⅱ-2 人材の確保・養成

		評価		
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。				
Ⅱ-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	保 16	a	b	c
Ⅱ-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	保 17	a	b	c
コメント 人事に関しては保育士の確保が安定していたため定員を超え弾力運用ができました。職員間から人事に対する意見が今年もありました。採用を保留する方は今年度で契約を止めました。動きに問題がある人も今年度までの契約にしました。良い働き手、共に協働できるような方々を中心に採用を行っていききたいと思ひます。				

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	保 18	a ・ <input checked="" type="radio"/> b ・ c
II-2-(2)-② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	保 19	<input checked="" type="radio"/> a ・ b ・ c
<p>コメント</p> <p>職員の就業状況は職務会などで意見が出れば適性に判断し対応しています。土曜保育について、子どもがいないから休みにできないかという意見がありました。就業時間は決められているもので、ショップの定員がお客様が来ないからといって、店を閉めますか？閉めて帰らせて下さいといっているのと同じですよと説明しました。次年度は変形労働による月1回の休みを土曜日に移したいと思います。休みの取り方も継続してアプリを使用し全員で見れる環境を維持したいと思います。福利厚生は社会福祉従事者相互保険加入。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	保 20	<input checked="" type="radio"/> a ・ b ・ c
II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	保 21	a ・ <input checked="" type="radio"/> b ・ c
II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	保 22	a ・ <input checked="" type="radio"/> b ・ c
<p>コメント</p> <p>研修に関する基本姿勢は全体的な計画の中で明示しています。また個々に対する組織的な計画というところまではできておらず、園全体として計画を立て情報の共有をするという姿勢は整っています。又、内容については職員内で話し合い協議するようにしていますが、中々意見が出ない為、次年度は選択できるようコードモンカレッジを採用したいと思います。</p>		
II-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生の受入れに対する基本的な姿勢を明確にし、体制を整備している。	保 23	<input checked="" type="radio"/> a ・ b ・ c
II-2-(4)-② 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	保 24	<input checked="" type="radio"/> a ・ b ・ c
<p>コメント</p> <p>基本姿勢随時受け入れる体制にあります。コロナ禍ではありましたが、可能な限り受け入れています。</p>		

II-3 安全管理

		評価
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	保 25	a ・ <input checked="" type="radio"/> b ・ c
II-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	保 26	a ・ <input checked="" type="radio"/> b ・ c
II-3-(1)-③ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	保 27	a ・ <input checked="" type="radio"/> b ・ c
II-3-(1)-④ 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	保 28	a ・ <input checked="" type="radio"/> b ・ c
II-3-(1)-⑤ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	保 29	<input checked="" type="radio"/> a ・ b ・ c
II-3-(1)-⑥ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	保 30	<input checked="" type="radio"/> a ・ b ・ c
II-3-(1)-⑦ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	保 31	a ・ <input checked="" type="radio"/> b ・ c
II-3-(1)-⑧ 不審者の進入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	保 32	a ・ <input checked="" type="radio"/> b ・ c
<p>コメント</p> <p>今年度は事故が2件でした。少なかったと思います。次年度は通常通りの保育に戻りそうですが、事故が増えないように気を付けたいと思います。大地震や津波への対策は不十分だと思われるため、次年度、保育環境や避難用具等を見直したいと思います。</p>		

II-4 地域との交流と連携

		評価	
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
II-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	保 33	a	b · c
II-4-(1)-② 保育所が有する機能を地域に還元している。	保 34	a · b	c
II-4-(1)-③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	保 35	a	b · c
<p>コメント</p> <p>利用者地域とのかかわりは大切にしています。勤労感謝訪問時に地域との交流を図っており、プレゼントをもって訪問させてもらったりしました。コロナ禍ではありましたが、保育実習性などの受け入れを行っています。園庭開放にも取り組み、数件の利用がありました。次年度はもっと利用者が増えるといいなと思います。</p>			
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	保 36	a · b	c
II-4-(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。	保 37	a · b	c
<p>コメント</p> <p>地域にある専門機関はそれなりに把握しているが明確にはされていません。また、連携についても必要とあらば連絡をとるようにしています。</p>			
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	保 38	a · b	c
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	保 39	a · b	c
<p>コメント</p> <p>全てのニーズを把握できていません。福祉全体としてもっと多くの課題があるのではないかと考えています。その辺りを行政を中心に情報の共有化ができ新しい事業展開などへ繋がれたらと思います。</p>			

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		評価	
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	保 40	a · b	c
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	保 41	a	b · c
<p>コメント</p> <p>子ども一人ひとりに合わせた保育ができるように配慮すると共に、職務会にて共通理解を図っています。又個人情報保護規定を整備しています。</p>			

Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上向上に努めている。				
Ⅲ-1-(2)-① 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るなど利用者満足の上向上を意図した仕組みを整備している。	保 42	a	● b ●	c
Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の上向上に向けた取組を行っている。	保 43	a	● b ●	c
<p>コメント</p> <p>お便り帳をシステムで行い写真を使用した配信にしてより臨場感が伝えられるようになりました。他児の活動・成長している姿も共有するようにし、成長の姿を共有するようにしています。又、保護者面談等を行えませんでした。次年度は状況を見て面談・相談等をしていきたいと思ひます。</p>				
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。				
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	保 44	a	● b ●	c
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	保 45	a	● b ●	c
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	保 46	● a ●	b	c
<p>コメント</p> <p>苦情解決処理のマニュアルもありますが、より保護者の声を反映できるように保育相談という形で意見が言ってもらえるような体制にしています。</p>				

Ⅲ-2 サービスの質の確保

			評価	
Ⅲ-2-(1) 質の上向上に向けた取組が組織的に行われている。				
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	保 47	a	● b ●	c
Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	保 48	a	● b ●	c
Ⅲ-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	保 49	a	● b ●	c
<p>コメント</p> <p>日々の評価反省を大切に、ドキュメンテーションを通して日々評価反省しています。そこから保育者間で話し合い次の日の保育計画に生かすようにしています。</p>				
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。				
Ⅲ-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	保 50	a	● b ●	c
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	保 51	a	● b ●	c
<p>コメント</p> <p>保育の質を一定以上維持するという意味で、保育の流れなどは確立できているが、どの保育士が対応しても一貫性があったり、保護者への対応が統一されているといったことはあえて行っていません。細かく文章にしないところをいい面だととらえている為、考え方が違ってくると不十分となるかもしれません。園長以外の職員がイレギュラーな一状況でも対応できるよう、考え方を常に話していきたいと思ひます。</p>				
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。				
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	保 52	● a ●	b	c
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	保 53	● a ●	b	c
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	保 54	● a ●	b	c
<p>コメント</p>				

子どもの記録なども個々について記録ができるような日誌に変更するなどして改善を行っています。しかし、情報共有の点に関してはなるべくできるように心がけています。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

		評価	
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	保 55	a	・ b ・ c
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	保 56	a	・ b ・ c
コメント 葉を作成し入園時に渡して説明しています。 利用開始に当たっては重要事項説明書への署名を頂いています。			
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
Ⅲ-3-(2)-① 保育所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	保 57	a	・ b ・ c
コメント 小規模などからの移動もあるが、家庭や他園の情報を得て、クラス内において無理なく馴染んでいけるようにしている。			

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		評価	
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	保 58	a	・ b ・ c
Ⅲ-4-(1)-② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	保 59	a	・ b ・ c
コメント 子どもに関する評価・分析は家庭からの情報も得ながら行っています。それらの情報を基にこれまでの経験を踏まえ、個々の課題を設定している状況です。子ども主体の保育や、個々の成長を見守るとなると、もっと人手が必要だと感じます。			
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。			
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	保 60	a	・ b ・ c
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	保 61	a	・ b ・ c
コメント 子どもたちの成長に合わせた保育計画を立て、子ども一人ひとりに対する良い保育ができるよう心がけています。反省などもその時折行っていますが、より評価・反省を次の計画へ反映させ展開できるようにしたいと思います。戦後、保育士の配置基準がずっと変わっていない年齢もあります。先生ん国の中でも日本は大分遅れています。異次元の少子化対策という事で、政府が動き出しますが、子どもにとって良い環境を提供してもらいたいと思います。			

Ⅲ-5 保育の固有サービス

		評価		
Ⅲ-5-(1) 健康管理・食事サービスが適切に行われている。				
Ⅲ-5-(1)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	保 62	a	● b	c
Ⅲ-5-(1)-② 健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	保 63	a	● b	c
Ⅲ-5-(1)-③ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	保 64	● a	b	c
Ⅲ-5-(1)-④ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	保 65	a	● b	c
Ⅲ-5-(1)-⑤ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	保 66	a	● b	c
Ⅲ-5-(1)-⑥ アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て適切な対応を行っている。	保 67	● a	b	c
<p>コメント</p> <p>健康管理は保護者とのやり取りや視診によって実施しています。健康診断・歯科検診結果は保護者にも伝達していますが、虫歯について、なかなか減らないのが状況です。園でできる対策をしたいところですが、マンパワーが足りません。献立は栄養士による献立で、園内の話し合いによって改善を行っていますが、残食についてお代わりではなく、削減することを視野に改善できたらいいと思います。アレルギーに関しては保護者からの連絡を受けながら対応しています。</p>				
Ⅲ-5-(2) 保育環境が適切に整備されている。				
Ⅲ-5-(2)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	保 68	a	● b	c
Ⅲ-5-(2)-② 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	保 69	a	● b	c
<p>コメント</p> <p>保育環境の整備においては、子どもたちの状況に合わせていろいろと変化はありますが、可能な限り子どもの生活にふさわしい環境を整備している状況です。園外活動が少なかったため、次年度は増やしていきたいことと、園庭の整備を本格的に実施していきたいと思っています。</p>				
Ⅲ-5-(3) 保育内容が適切に行われている。				
Ⅲ-5-(3)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	保 70	● a	b	c
Ⅲ-5-(3)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対処している。	保 71	● a	b	c
Ⅲ-5-(3)-③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	保 72	a	● b	c
Ⅲ-5-(3)-④ 身近な自然や社会と関わられるような取組がなされている。	保 73	a	● b	c
Ⅲ-5-(3)-⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	保 74	a	● b	c
Ⅲ-5-(3)-⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	保 75	● a	b	c
Ⅲ-5-(3)-⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	保 76	● a	b	c
Ⅲ-5-(3)-⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	保 77	● a	b	c
Ⅲ-5-(3)-⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	保 78	● a	b	c
Ⅲ-5-(3)-⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	保 79	● a	b	c
Ⅲ-5-(3)-⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	保 80	a	● b	c
Ⅲ-5-(3)-⑫ 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を考慮しながら行っている。	保 81	● a	b	c
<p>コメント</p> <p>保育内容については子ども一人ひとりの個性・特性を把握しつつそれぞれがしっかりと成長発達していけるよう心がけながら保育を実践しています。しかしながら自然環境などが比較的少ない状況もあるので、園外へでて体験できる機会を増やしていきたいと思っています。</p> <p>障害児保育に対しては、人件費補助が不十分な状況で十分なマンパワーを充てられていません。今後行政への要望として、伝え続けていかなければならないと思います。</p>				

Ⅲ-5-(4) 入所児童の保護者の育児支援が適切に行われている。		
Ⅲ-5-(4)-① 一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	保 82	a ・ b ・ c
Ⅲ-5-(4)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	保 83	a ・ b ・ c
Ⅲ-5-(4)-③ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	保 84	a ・ b ・ c
Ⅲ-5-(4)-④ 虐待を受けていると疑われている子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	保 85	a ・ b ・ c
コメント		
虐待への対応などは年1回内部研修を行いその体制について確認をしています。		

総評・次年度へ向けて

次年度も保育の内容について見つめ直し、方向性を考えていきたい。「選ばれる園」「なければならない園」となれるよう保育の在り方を話し合い、「子ども主体の保育」のアプローチの仕方を勉強し、その取り組みをはじめていきたい。

職員の体制についても、人材は足りてきているので、人の成長を促していけるような取り組みをしていきたい。事と、職員の幸福度が上がるような環境、研修等に力を入れていきたい。